Press Release

大正大学
スガモで育む日本の未来。

発信 No.2022-53
2022 年 12 月 1 日
学校法人 大正大学

地域の課題解決を探る授業で栽培したサツマイモが
銀座ミツバチプロジェクト「Imolympic」の畑部門で３位受賞！！

大正大学（学長：髙橋秀裕、所在地：東京都豊島区）の社会・地域貢献に関する科目「サービスラーニングⅠ-D（すがもプロジェクト キャンパス農園運営チーム）」（担当教員：古田尚也教授）で栽培しているサツマイモが、東京都中央区銀座でミツバチを養蜂するプロジェクトである「銀座ミツバチプロジェクト（以下、銀ぱち）」が毎年開催している「第５回 Imolympic2022」（※）の畑部門において３位に輝き、古田教授と学生５名が授賞式に参加しました。

（※）Imolympic…ImoOC が主催する屋上緑化サツマイモ収穫大会。「Imolympic 憲章：屋上緑化と芋焼酎「銀座芋人」で循環する緑化活動をめざす」にもとづき、屋上およびその敷地内でサツマイモを栽培し、収穫を競っています。今年で５回目の開催となります。

第５回 Imolympic2022 表彰式の様子

921g で畑部門第３位！来年は優勝を目指します

■背景

大正大学は 2015 年度「グリーンインフラによる持続的な国土構築に関する可能性調査」（JST フューチャー・アース構想の推進事業、研究代表者：島谷 幸宏）に参加したことをきっかけに、キャンパスのある巣鴨を中心とした都市型のグリーンインフラの実装に取り組み始めました。緑や空地の少ない大都市において、どのようなグリーンインフラが実装可能かを検討する中で、銀座ミツバチプロジェクトの「銀座芋人」プロジェクトと出会いました。2016 年から活動に参加し、本学で収穫したサツマイモを提供しています。当初はたった 10 個のプランターで始まったキャンパスでのサツマイモ栽培ですが、今では巣鴨キャンパス校舎屋上などで約 100 台のプランターでの栽培を行っています。

※12 月４日（日）に開催されるオープンキャンパスでは、本農園を案内するツアーも開催します。

■学生のコメント

臨床心理学科４年　キャンパス農園班チーフ・近江由隆さん
「来年は、早く植える・土を休ませる・土に栄養を与えるなど、工夫をしたいです！」

収穫したサツマイモ（一部）

学生と教職員が協働で収穫（本学７号館３階）

■すがもプロジェクト「キャンパス農園運営チーム」

すがもプロジェクトは、大正大学が位置する巣鴨のまちを中心に活動を展開しています。学生が主体的に関わり、地域ボランティアやフィールドワークを実践しながらテーマを持った学生と地域の人々が共に学ぶ発展的共通教育です。そのプロジェクトの中の「キャンパス農園運営チーム」は、巣鴨キャンパス校舎屋上などにプランターを設置して、さまざまな野菜の栽培を行っており、サツマイモも育てています。また、昨年からは収穫したサツマイモを原料とした焼酎「巣鴨芋人」も製造しています。

■銀座ミツバチプロジェクト

屋上緑化を推進するために、養蜂活動の他、さつまいも栽培に取り組んでいます。銀座ミツバチを中心とした各地の協力企業等の屋上や、福岡の福祉作業所が作ったサツマイモを原材料にした焼酎「銀座芋人（いもじん）」を福岡県豊前市の後藤酒造で作っています。地域活性化×環境保全×福祉に貢献しています。

◆大正大学

大正大学は、設立四宗派の天台宗・真言宗豊山派・真言宗智山派・浄土宗および時宗が協働して運営する大学です。その協働の精神を支えているのが、大正 15 年（1926）の創立時に本学が掲げた、「智慧と慈悲の実践」という建学の理念です。建学の理念のもとに〈慈悲・自灯明・中道・共生〉という仏教精神に根ざした教育ビジョン「4 つの人となる」を掲げて教育研究の活動を展開しています。また、令和２年度文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」に本学の推進する「新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業」が採択されました。公式 HP：https://www.tais.ac.jp/

令和2年度
文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」採択校
「新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業」 大正大学

■取材に関するお問い合わせ

大正大学 広報課　　取材のお申し込みはこちらからお願いいたします：https://www.tais.ac.jp/user/press/
電話：03-5394-3025（直通）　FAX：03-5394-3046　E-mail：kouhou@mail.tais.ac.jp